

2021年度 ユネスコスクール実践事例集

テーマ『SDGsへの積極的な取り組み』

旭川龍谷高等学校

校長 中田 伸次

地域連携コーディネーター 藤平 忠久

1. 本校のESDの特徴

ESD実践の具体的な活動として、本校では以下の3点に主眼をおいて取り組んできました。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、海外見学旅行および海外交換留学も中止となりましたので③の実践は休止いたしました。

なお、旭川ユネスコ協会の林朋子会長様のご助言をいただき、タイ国のユネスコスクールであるMuangkrabi Schoolとの交流を企画することができましたが、担当者レベルでの情報交換を図りつつも残念ながら現地コロナ対応のため実質的な交流は中断しています。

- ①郷土研究を通じた北海道文化の考察
- ②ボランティア活動を通じた地域社会への貢献
- ③海外見学旅行を通じた国際理解教育の推進

2. 活動趣旨と事例

本校は、ESDを報恩感謝の心を大事にする教育活動と捉え、ESDの実践を通して心豊かな生徒の育成を目標としています。

今年度は、龍谷総合学園の「仏教×SDGs」の精神を踏まえ、SDGsのテーマ5「ジェンダー平等を実現しよう」について学内で学習を深めています。また、「首里城復興ユネスコ募金」活動を継続し、生徒・教職員の協力を得て、支援金を送らせて頂きました。さらに、旭川のユネスコ創造都市としてSDGsを実践できる人材育成等の目的で開催された「旭川デザインウィーク 2021・まちなかキャンパス」に本校の郷土部が「文化の多様性の尊重」を趣旨にオンラインでアイヌ文化の紹介をしました。

3. 成果と課題

今年度も、SDGsやESDの取り組みは新型コロナの影響で積極的には行うことができませんでした。来年度は、生徒会・インターアクトクラブ・郷土部の精力的な活動が再開され、それぞれの取り組みを発展させていきたいです。

ユネスコスクール実践ニュース【学校HPより】

龍谷総合学園「仏教×SDGs」参加 (2021/8/30)

8/21に龍谷総合学園主催の「仏教×SDGs」がオンライン会議で行われました。ZOOMを利用して全国から26校が参加しました。内容は、誰一人取り残さない社会に向けた活動実践を目的に、各学校が「ジェンダー/多様性」「食生活/エシカル消費」「SNS～対話・コミュニケーションの可能性」の3分野に分かれてのプレゼンテーションとなります。本校からは、2年生の室井さんと小川さんが「ジェンダー/多様性」の分野で発表し討議しました。



世界の人々の為に高校生として具体的に何ができるのか、み教えを共にしている龍谷総合学園の生徒の皆さんと、仏教の「利他の精神」を実感しながら学ぶことができました。大変に充実した時間を過ごせたとの事です。

郷土部「この夏の活動」 (2021/9/11)



郷土部は、上川アイヌの研究を継続しアイヌ文化を学び、アイヌ民族との交流を深めています。この夏、旭川市嵐山のアイヌ文化の森・伝承のコタンで、上川アイヌの伝統儀式や伝統家屋の解体作業に参加しました。

*** 旭川市嵐山のアイヌ文化の森・伝承のコタンにおいて ***



7/31(土)に上川アイヌの伝統儀式「チノミシリカムイノミ(聖なる地でのお祈り)」が、2年ぶり2ヶ月遅れで行われました。儀式に欠かせない祭壇を建てるお手伝いをしました。(写真左上)

8/14(土),15(日)に上川アイヌ伝統家屋「ウラシチセ(笹葺き家屋)」の解体作業が行われました。来年春に新しいチセが建てられます。解体作業の様子(写真左下)

IAC「赤い羽根共同募金」実施 (2021/10/7)



10/3(日)に赤い羽根共同募金の活動を旭川駅前周辺で行いました。インターアクトクラブ(IAC)の部員3名が参加しました。募金のご協力、ありがとうございました。

また IAC は、7 月に旭川市市民活動交流センターで行われた「こども食堂」や「こども縁日」のイベントに、ボランティアとして参加しています。



こども食堂は、子どもたちが気軽に訪れ学習や食事ができるイベントです。美味しい食事づくりを手伝いました。こども縁日では、ヨーヨー釣りの準備などを手伝いました。

道内三校宗教研修会に参加 (2021/10/27)



本校は、24 学園 72 校よりなる日本最大級の学校グループ「龍谷総合学園」のひとつです。10/23(土)に道内の加盟校三校(札幌龍谷・小樽双葉・旭川龍谷)による宗教研修会が小樽双葉高校主催で行われました。本校から 4 名の生徒が、3校で 30 名の生徒が参加しました。

研修は「仏教 xSDGs 今私たちにできること」をテーマに、「フィリッピン・ミンダナオ島物資支援について」の講演が行われ、引き続き、持ち寄った古着などを段ボールに梱包し、「物資支援」として送る作業を行いました。

フィリッピン・ミンダナオ島物資支援の取り組みは、小樽双葉高校が 2008 年より NPO 法人「OTARU ワールドフレンズ事務局」に協力をいただき行っているものです。最初は卒業生のまだ使用できる上靴を送っていましたが、最近は文房具や地域からいただいた作業着なども送るようになりました。

今後、この取り組みを道内宗門関係学校・龍谷総合学園「仏教 xSDGs」の一つとして共有していきたいと考えています。

写真は、「物資支援」作業の様子です。